

有明高専

山口、花桐さんに奨励賞

半導体の原料研究などで



受賞した花桐さん(左)、山口さん(右)

有明工業高等専門学校専攻科二年生の山口大輝さん(二二)、電子情報工学科五年生の花桐詩瑞香(しずか)さん(二〇)が、電子情報通信学会九州支部の学生会講演会奨励賞を受賞した。「約百二十人の発表者のなかから十人程度に贈られる賞。まさか受賞できるとは」と喜んでい

る。山口さんはコンピューターなどに使われる半導体の原料、シリコンの代替品として注目されている「超ナノ微結晶ダイヤモンド薄膜」の製造についてまとめた研究を、花桐さんはコンピューターの演算増幅器のICチップの設

計で、どのように学んだかをまとめて、それぞれ発表しました。山口さんは「初めての発表で、緊張していましたが、落ち着いてプレゼンテーションができたと思います。卒業後は、半導体メーカーに就職し、研究や開発に携わることになると思っています。このような賞を頂いてうれしいです」と話した。花桐さんは「五年生で初めて発表する機会を与えられたので、緊張しました。先生たちの質問も、事前想定していた範囲内だったので落ち着いて対応できました。来年は専攻科に進学し、演算増幅器の設計や試作をしていきたいと考えています」と語った。

山口大輝さん 有明工業高等専門学校専攻科二年生 電子情報通信学会九州支部の学生会講演会



で、奨励賞を受賞しました。発表したのは、半導体のシ

リコンの代替品として注目を集めている、超ナノ微結晶ダイヤモンド薄膜の生産についてまとめた

代替品としても使えます。卒業後は、半導体メーカーに就職が内定していて、半導体の設計や研究開発に

おもしろなナロン

のです。私の研究で清算すると、生産の手間が省けてコストが下がるメリットがあります。もちろん、工業用ダイヤモンド製品の

従事する予定です。奨励賞をいただくことができ、本当にビックリしています。